

メタン発酵残渣肥料の提供による 「農業リサイクルループ」を推進

株式会社 J バイオフードリサイクル（社長：蔭山佳秀、本社：神奈川県横浜市）は 2022 年 9 月に発酵液ならびに発酵液脱水汚泥を農林水産省の普通肥料に登録し、このたび本格的な肥料提供（以下、本事業）を開始いたしました。

従来メタン発酵残渣の処理には固液分離後、液体は排水処理、固体は焼却処分する必要があり、多くのエネルギーを使用し、CO₂ 発生量も多く、環境負荷面が課題でした。今回、これらを肥料利用することにより、従来の焼却処理が不要となり、CO₂ 削減による環境負荷低減に寄与します。

本事業は「令和 4 年度神奈川県みどりの食料システム戦略推進交付金-バイオマス地産地消の推進事業-※¹」に採択され、神奈川県内農地で肥料の散布実証を進めるとともに、県外の農業法人とも実証を進めています。また、2023 年度から当社、排出事業者および農業事業者の 3 者を結んだ「農業リサイクルループ」の構築を目指します。具体的には、当社肥料を農業事業者が使用して農作物を生産、その農作物を排出事業者系列の飲食店などで利用し、発生した食品廃棄物を当社で処分し肥料製造を行い、農業事業者に提供するというリサイクルループを構築します。

この「農業リサイクルループ」構築は、東日本旅客鉄道株式会社（社長：深澤祐二、本社：東京都渋谷区）および JR 東日本グループ会社とも緊密に連携・協力し、推進していく方針です。

当社は、この「農業リサイクルループ」と、JFE エンジニアリング株式会社（社長：大下 元、本社：東京都千代田区）の子会社で新電力会社のアーバンエネルギー株式会社（社長：小林 厚、本社：神奈川県横浜市）が提供している「電力リサイクルループ」（創電割®※²）を加えた「ダブルリサイクルループ」を構築し、地域と連携した環境にやさしい取り組みを積極的に推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※ 1：みどりの食料システム戦略は食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を技術革新によって実

現するために農林水産省によって策定されており、農林水産業の CO₂ ゼロエミッション化や化学肥料の規制、それを支える事業への補助が行われています。

※2：アーバンエナジーが廃棄物から発電した電力を買い取り、廃棄物の発生元施設へ供給する場合に、廃棄物量に応じて電力料金を割引くサービス。

■ 株式会社 J バイオフードリサイクル会社概要

所在地	横浜市鶴見区弁天町 3 番地 1
代表者	蔭山佳秀
事業内容	食品リサイクル・バイオガス発電事業
資本金	6,000 万円
設立年月日	2016 年 8 月 1 日
出資者	J F E エンジニアリング株式会社(10%)、 J & T 環境株式会社(56%) 東日本旅客鉄道株式会社(17%)、 株式会社 J R 東日本環境アクセス(17%)

■ 肥料登録内容

	肥料名称	登録番号
発酵液	はまのしずく	生第 107527 号
発酵液脱水汚泥	はまのみどり	生第 107528 号

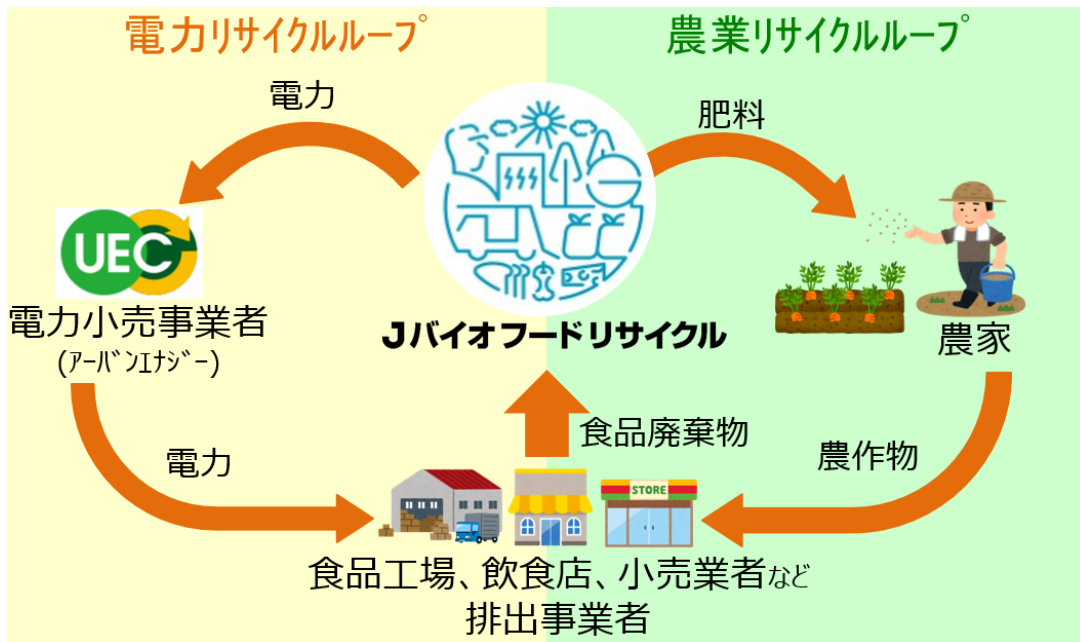


写真 1 はまのしずく

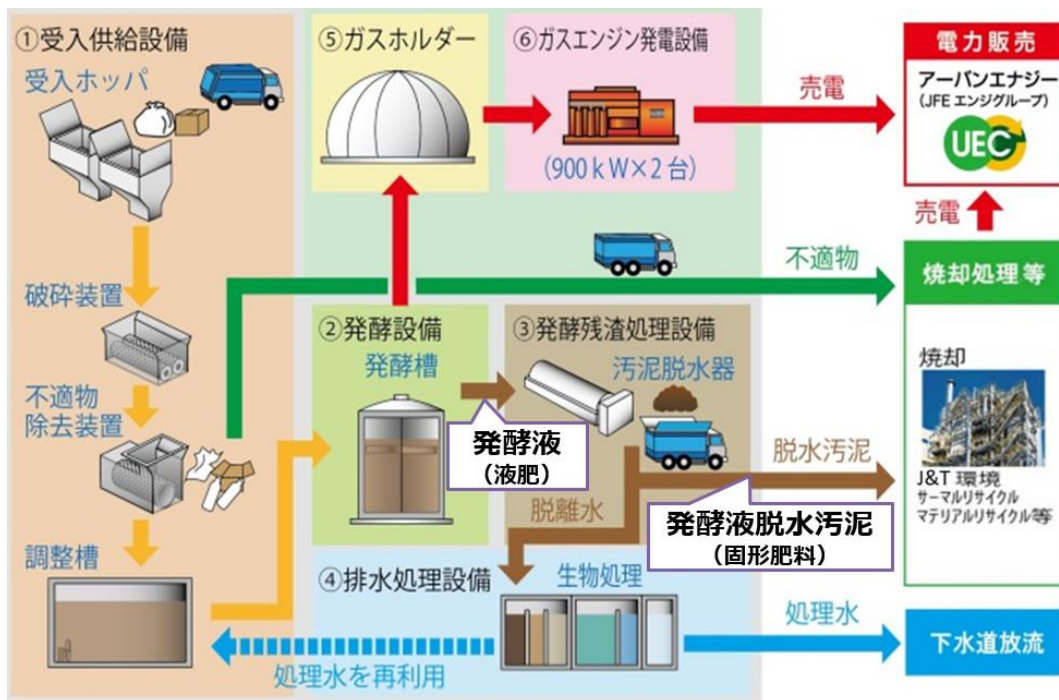


写真 2 はまのみどり

■ダブルリサイクルループ



■従来処理フローと肥料が製造されるポイント



本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

株式会社 J バイオフードリサイクル 管理室 TEL045-505-7845